

本時のねらい

- ・ポッチャに取り組むことを通して社会性を養う。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・検索機能を使うことを通して、自分で調べたい事柄を見つける方略を身に付ける。
- ・1 人 1 台端末のカメラ機能を使用して撮影した動画を確認することにより、自分自身の動きを理解する。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイロノート
- ・カメラ機能

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の「めあて」と「流れ」を確認する。 本時の流れ ①ポッチャについて調べる。 ②ゲームに参加する。 ③投げ方を工夫する。 ・ロイロノートのワークシートを準備する。 	
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポッチャやそのルールについて 1 人 1 台端末で調べ、ワークシートを完成させる。【写真 1】 ・実際にボールを投げ、その様子を動画で撮影する。 ・撮影した動画を見て、自分の動きを分析し、投げ方を改善する。【写真 2】 ・投げ方について工夫した箇所をロイロノートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートでワークシートを完成させる。 ・動画を撮影して、自分の動きを客観的に分析する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを行う。【写真 3】 ・本時の感想を提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートで提出する。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】ルールなどを書くワークシート



【写真 2】撮影した動画を視聴し、分析している様子



【写真 3】振り返りを記入している様子

児童生徒の反応や変容

- ・生徒が自分でルールを確認することにより、意欲的に活動に取り組んでいた。
- ・自分の動きを分析して改善することで、どのように投げればいいのか考え、粘り強く取り組むことができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・1 人 1 台端末を活用することで、個々の生徒の認知スタイルに合わせた学習を進めることができるため、生徒の自己肯定感を高めることができる。